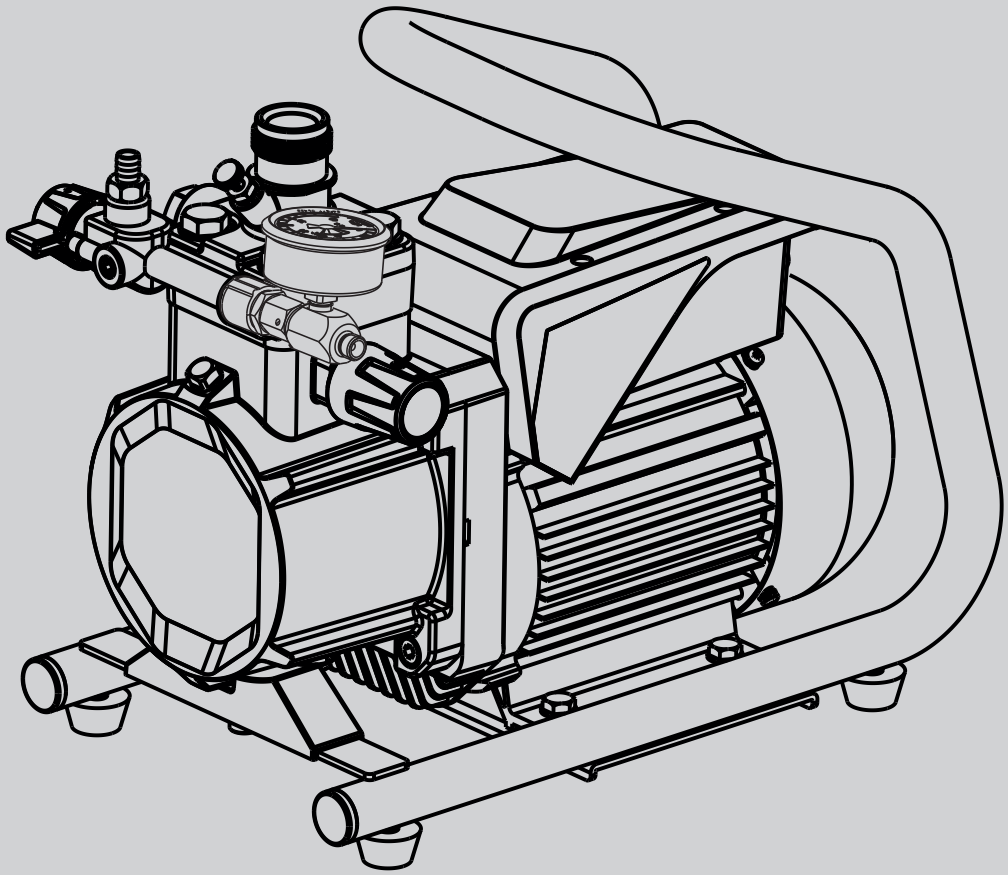


HERO 21 PRO

JA

電動式ダイアフラムエアレス塗装機

- JA - 操作説明書

wagner-group.com

目次

1 安全規定 3

2 エアレス塗装機の安全規定 4
2.1 引火点 [塗料および溶剤による危険] 4
2.2 防爆 4
2.3 点火源による爆発および火災のおそれ 4
2.4 スプレー噴霧による負傷のおそれ 5
2.5 意図しない操作を防ぐエアレススプレーガンのロック 5
2.6 エアレススプレーガンの反動 5
2.7 溶剤蒸気からの呼吸保護 5
2.8 労災の予防 5
2.9 最大作動圧力 5
2.10 塗料ホース 5
2.11 静電気の帯電 (火花や炎の発生) 5
2.12 本機のコンセントの負荷 5
2.13 室内作業時の換気 6
2.14 排気設備 6
2.15 被塗物の接地 (アース) 6
2.16 コーティング材 6
2.17 塗装機の洗浄 6
2.18 電気設備の整備または修理 6
2.19 メンテナンス作業と作業中の休憩 5
2.20 床が平坦でない場合 6

3 使用の概要 / 本機についての説明 7
3.1 概要 7
3.2 塗料 7
3.2.1 研磨性の添加剤を含む塗料 7
3.2.2 フィルター処理 7
3.3 説明図 8
3.4 技術データ 9

4 使用開始 10
4.1 サクションシステム付きの場合 10
4.2 ホッパー 付きの場合 10
4.3 塗料ホースとエアレススプレーガン 10
4.4 電源接続 10
4.5 初使用開始の手順 11
4.6 吸入弁から音が聞こえない場合の塗装機 (油圧システム) のエア抜き 11
4.7 塗料充填後の始動 11

5 塗装テクニック 12

6 塗料ホースの取扱い 13

7 作業の中断 13

8 洗浄 14
8.1 外側からの洗浄 15
8.2 サクションフィルター 15
8.3 高圧フィルター (オプション) 15
8.4 エアレススプレーガンの洗浄 16

9 メンテナンス 16
9.1 一般的なメンテナンス 16
9.2 塗料ホース 16

10 修理 17
10.1 吸入弁 17
10.2 吐出弁 18
10.3 圧力調整弁 18
10.4 典型的な摩耗部品 18
10.5 トラブルシューティング 19

11 交換部品とアクセサリー 20
11.1 HERO 21 のアクセサリー 20
11.2 HERO 21 の交換部品 24
11.3 高圧フィルター (オプション) の交換部品リスト 26
11.4 ホッパー (オプション) 26
11.5 サクションシステムの交換部品リスト 27

廃棄に関する注意 27
製造物責任に関する重要事項 27
保証書 27

1 ⚠安全規定

注意！法律で定められている規則および安全要件のすべてに従う必要があります。危険を回避するため、本操作説明書を注意深く読み、記載されている指示に従ってください。

1. 作業環境の安全性

a) 作業環境は、清潔に保ち、充分な照明を用意してください。整頓されていない場所、照明の不充分な場所での作業は、事故につながりかねません。

b) 本機は、可燃性の液体や気体、塵のある、爆発の危険のある環境で使用しないでください。本機から出た火花によって、塵や気体が引火する可能性があります。

c) 本機の使用中は、幼児など、作業者以外の人を近づけないでください。気を取られ、操作を誤る可能性があります。

2. 電気の安全性

a) 本機の電源プラグがコンセントに合っていることを確認します。絶対にプラグを改造しないでください。適切なプラグとコンセントを使うことで、感電のリスクが最小限に抑えられます。

b) 本機を雨や水で濡らさないでください。本機に水が浸入すると、感電のリスクが高まります。

c) 電源ケーブルを、本機の運搬や吊り下げといった目的に使用したり、コンセントからプラグを抜くときに引っ張ったりしないでください。電源ケーブルを、熱やオイル、尖った物、可動部品の近くに置かないでください。電源ケーブルが破損したり絡まったりすると、感電のリスクが高まります。

d) 本機を屋外で使用する場合は、必ず屋外での使用に適した延長ケーブルを使用してください。屋外での使用に適した延長ケーブルを使うことで、感電のリスクが抑えられます。

e) 本機を湿気の多い環境で使用しなければならない場合は、漏電遮断器を使用してください。
漏電遮断器を使用することで、感電のリスクが抑えられます。

f) 本機、被塗物は必ずアースを取ってください。静電気が発生するとスパークを起こし、火災・爆発・電気ショックの原因になります。

3. 人体の安全

a) 自分が行っていることに集中し、十分な注意を払って本機を扱うようにしてください。疲れているとき、またはアルコール、薬の影響下にあるときは、本機を使用しないでください。本機の使用中は、一瞬の不注意が深刻な怪我につながりかねません。

b) 個人用防護装備を着用し、必ず安全ゴーグルをはめてください。防塵マスクや滑り止めの付いた安全靴、安全ヘルメット、防音保護などの個人用防護装備を着用すると、怪我のリスクが抑えられます。

c) 誤って運転開始しないようにしてください。電動工具を電源やバッテリーに接続したり、手に取ったり、運んだりする前に、電動工具の電源が切れていることを確認してください。電動工具を持ち運ぶときにスイッチに指をかけたり、工具にスイッチが入った状態で電源に接続すると、事故につながることがあります。

d) 作業場所から調整用工具やスパナ等を取り除いてください。本機の回転部品の近くに工具やスパナ等があると、怪我につながる可能性があります。

e) 不自然な姿勢で作業をしないでください。不自然な体勢でいると、予期しない状況が発生した場合に本機を適切にコントロールできません。

f) 適切な衣服を着用してください。ゆるめの衣服や垂れ下がる装飾品を着用しないでください。髪、衣服、手袋を可動部品に近づけないでください。ゆるい衣服や装飾品、長い髪は、可動部品に巻き込まれる可能性があります。

g) 安全でないのに間違って大丈夫だと思い込まないでください。電動工具を何度も使用して習熟している場合でも電動工具の安全規則を無視しないでください。不注意に行動すると、一瞬で重傷につながる可能性があります。

4. 電源装置の取扱いと使用

a) 電源に過度な負荷を与えないでください。本機に適した電源を使用してください。適切な電源を使えば、指定の出力範囲で確実に、効率よく作業できます。

b) スイッチの故障した本機は使用しないでください。スイッチを入れたり切ったりできない本機は、危険なので修理が必要です。

c) 本機の調整や付属品の交換を行うとき、または本機をしまうときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。このような安全対策を取ることで、本機の偶発的な事故が防止できます。

d) 使用していない本機は、子どもの手の届かない場所に保管してください。本機の使用法に詳しくない人や、操作説明書を読んでいない人には、本機を使用させな

いでください。本機は、経験のない人が使用すると危険です。

e) 本機の手入れは、丁寧に行ってください。可動部品がスムーズに動作すること、部品が破損していないこと、部品に本機の機能に影響するような損傷がないことを確認してください。損傷がある部品を修理してから、本機の使用を再開します。事故の多くは不適切なメンテナンスに起因しています。

f) 本機付属品、操作工具などは、その機種に規定されたものを、操作説明書に従って使用してください。その際、必要な作業と作業環境に注意を払ってください。規定されている以外の用途に電気部品を使用すると、危険な状況を招く可能性があります。

g) グリップとグリップ面は油脂が付いていない、清潔で乾燥した状態に保ってください。グリップやグリップ面がすべりやすいと、予期しない状況で電動工具を安全に操作したり、制御したりできなくなります。

5. サービス

a) 機器の修理は、必ず資格を持った専門技術者が純正交換部品を使って行うようにしてください。そうすることで、機器の安全性が保たれます。

b) 本機の電源ケーブルが損傷した場合は、危険を回避するため、メーカーかその顧客サービス、または同様の資格を持つ販売店に交換を依頼してください。

2 ⚠エアレス塗装機の安全規定

各地域で適用されている安全要件に従ってください。

エアレス高圧塗装機を安全にご使用頂くため、以下の安全規定を順守してください。

2.1 引火点 [塗料および溶剤による危険]

⚠	引火点が21 °C以上の塗料および溶剤のみを使用してください。 引火点とは、塗料から蒸気が発生する最低温度です。塗料から発生した空気とこの蒸気が混ざり合うと、可燃性の混合物が形成されます。 使用する液体の毒性を確認してください。保管は国や自治体の規定に従い管理してください。

2.2 防爆

⚠	防爆規定事項に適合しない作業場では本機を使用しないでください。本機は防爆仕様ではありません。 本機を爆発の危険がある領域で使用しないでください。爆発の危険がある領域とは、塗料の保管場所や被塗物の周辺です。本機は被塗物から3m以上離れた場所に設置してください。

2.3 点火源による爆発および火災のおそれ

⚠	本機を炎、喫煙中のタバコやパイプ、火花、熱線、高温面などの点火源の近くで使用しないでください。

2.4 スプレー噴霧による負傷のおそれ

スプレーにより怪我をするおそれがあります。エアレススプレーガンは自分や他の人、動物には絶対に向けないでください。
エアレススプレーガンを使用する際は、スプレー噴霧がかからないように必ず保護具を着用してください。
スプレー噴霧が身体にかからないようにしてください。
エアレススプレーガンの高圧スプレー噴霧によって重度の負傷を負う恐れがあります。
スプレー噴霧が身体にかかると、塗料が皮膚内に入り込むことがあります。スプレーによる負傷の際は、絶対に普通の切り傷と同じような処置をしてはいけません。
塗料や溶剤によって皮膚を負傷した場合はただちに病院に行き、専門医の治療を受けてください。そのとき、使用した塗料や溶剤を医者に知らせてください。

2.5 意図しない操作を防ぐエアレススプレーガンのロック

ノズルを取り付けたり取り外す際、そして作業中断時には、エアレススプレーガンの安全ロックを必ずロックしてください。

2.6 エアレススプレーガンの反動

高圧力でスプレー作業する場合、トリガーを引くと最大15 Nの反動があります。
反動に備えていないと、手に反動を受けたり、身体のバランスを失うおそれがあります。その結果、負傷につながることがあります。

2.7 溶剤蒸気からの呼吸保護

スプレー作業時には呼吸保護マスクを着用してください。
本機使用者には呼吸保護マスクを供給してください。

2.8 労災の予防

皮膚を保護するため、防護服、手袋、場合に応じてハンドクリームが必要になります。
塗装機の準備、運転、洗浄の際には、塗料メーカーおよび溶剤/洗剤メーカーの指示事項に従ってください。

2.9 最大作動圧力

エアレススプレーガン、エアレススプレーガンのアクセサリーおよび塗料ホースの許容作動圧力は、本機に指定されている最大作動圧力 (20,7 MPa) を下回ってはいけません。

2.10 塗料ホース

スプレー噴霧により怪我をするおそれがあります。塗料ホースが摩耗したり折り曲げられた場合、あるいは不適切に使用された場合、ホースに漏れが生じることがあります。その際、漏れの箇所から皮膚内に液体が入り込むおそれがあります。

- 塗料ホースは使用前に必ず入念な点検を行ってください。
- 損傷がある塗料ホースはただちに取り替えてください。
- 欠陥のある塗料ホースを絶対に自分で修理しないでください。
- 鋭角に曲げたり折り曲げないでください。
- 塗料ホースを踏まないでください。尖った物や角で擦れないように保護してください。
- 塗料ホースを引っ張って塗装機を動かすことは絶対におやめください。
- 塗料ホースをねじらないでください。
- 塗料ホースを溶剤に入れないでください。お手入れには、湿らせた布で外側を拭いてください。
- 塗料ホースを取り回す際は、人や物に引っかかったりしないように注意してください。

機能性、安全性および耐久性の理由から、ワグナー製の純正の塗料ホースのみを使用してください。

2.11 静電気の帯電 (火花や炎の発生)

スプレーされる塗料の流動により、場合によっては塗装機に静電気が帯電し、放電して火花や炎が発生することがあります。そのため、塗装機は必ず接地（アース）する必要があります。
必ず接地（アース）をとってください。

エアレススプレーガンおよび塗料ホースに帯電された静電気は、塗料ホースによって除去されます。そのため、塗料ホースのジョイント間の電気抵抗は1メガオーム以下でなければなりません。

2.12 本機のコンセントの負荷

ケーブルリールを使用して電源を延長する場合は、ケーブルをリールから完全に引き出してください。

2.13 室内作業時の換気

溶剤の蒸気が排出されるように十分な換気を行ってください。

2.14 排気設備

本機使用地域の法規に従って適切に設置してください。

2.15 被塗物の接地（アース）

被塗物は接地（アース）してください
(通常、建物の壁は自然に接地（アース）されています)。

2.16 コーティング材

噴霧されたコーティング材によって引き起こされる可能性のある危険性に注意を払い、また、容器のラベルやコーティング材のメーカーの指示も同様に遵守してください。
危険性について知らない物質は絶対にスプレーしないでください。

2.17 塗装機の洗浄

清掃する場合は、ノズルを外した状態で、低圧でのみガンを洗浄してください。

	溶剤を用いて本機を洗浄する際は、小さい開口部 (注入口) 付きの容器内に溶剤をスプレーしたりポンプで注入してはいけません。爆発の危険がある気体/混合物が生じるおそれがあります。接地された金属製の容器のみを使用してください。接地するには、容器の縁にガンをしっかり当ててください。.

	水が侵入してショートするおそれがあります。 機械本体の洗浄には絶対に高圧洗浄機や高圧スチームクリーナーを使用しないでください。

2.18 電気設備の整備または修理

これらの作業は電気技術士のみが行ってください。不適切に設置された塗装機に対しては当社は一切の責任を負いません。メンテナンス作業の際には必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

2.19 メンテナンス作業と作業中の休憩

本機で作業を行う前、および作業中に休憩を取るときは、必ずスプレーガンと高圧ホースを減圧してください。スプレーガンのトリガーガードを固定し、本体のスイッチを切ります。

2.20 床が平坦でない場合

傾斜面では塗装機を作動しないでください。振動により移動するおそれがあります。

3 使用の概要 / 本機についての説明

3.1 概要

Hero 21 Pro は、さまざまな種類の塗料を空気を使わず(エアレス) スプレーするための電動機器です。本機は圧送ローラーにも対応しており、そのための専用アクセサリーもご用意しております。
Hero 21 Proは作業場でも建設現場でも使用できます。
Hero 21 Proは室内および屋外領域で中小サイズの物に対してエマルション塗料の処理ができるように機器の出力が設計されています。

ラッカー塗装では以下のような物を対象にしたあらゆる通常作業に適しています:
ドア、ドアのフレーム、手すり、家具、羽目板、フェンス、ラジエーター、スチール部品。
ラッカー作業の場合はホッパーの使用を推奨します。

3.2 塗料

使用可能な塗料

水性/溶剤系塗料、二液性塗料、エマルション塗料

注意:
1. 二液性塗料
   可使時間を厳守し、この時間内に適切な洗浄剤で塗料通過部分を丁寧に洗浄してください。硬化した塗料は溶解できません。ポンプ内で硬化すると、塗料ポンプの交換修理となります。
2. 顔料の多い塗料(ジンクリッチ系塗料等)
   顔料には研磨作用があり、吸入・吐出弁、エアレススプレーガン、ノズルチップの摩耗は短時間で発生します。修理にもかなりの部品交換を必要とします。

他の塗料の処理は、それによって機器の耐久性や安全性が損われる可能性もあるので、必ずワグナー社に事前の問い合わせを行ってください。

i	処理する塗料のエアレス品質に注意してください。

本機は最大15,000mPasまでの粘度の塗料を処理できます。高粘度塗料の場合、スプレー性能が大幅に低下してしまうので、メーカーの情報に従って希釈する必要があります。

塗料はよく撹拌してから使用してください。

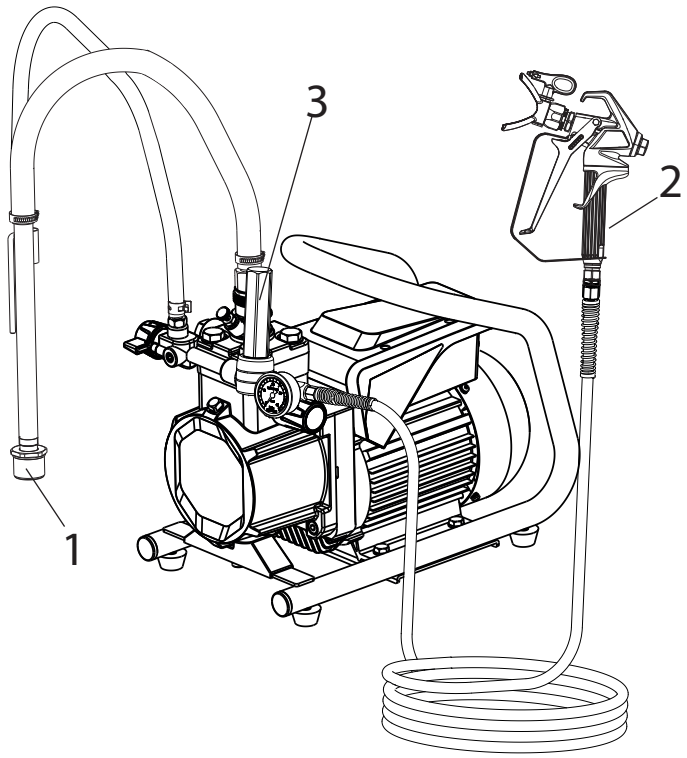
i	注意:塗料を撹拌する際、特に電動撹拌機を使って撹拌する場合は、気泡が生じないように注意してください。 気泡はスプレーの妨げになり、本機の運転が停止することもあります。

3.2.1 研磨性の添加剤を含む塗料

こうした塗料の粒子はバルブやノズル、そしてスプレーガンに対しても強力な研磨作用をもっています。これらの摩耗部品の寿命はそれによって大幅に損なわれます。

3.2.2 フィルター処理

本機が支障なく動作するためには、十分なフィルター処理によって異物を取り除く必要があります。そのため、本機にはサクションフィルター (1) と、エアレススプレーガン内の差し込み式フィルター (2) が装備されています。これらのフィルターが損傷したり汚れていないかを定期的に点検することを強くお勧めします。
さらにアクセサリー(別売)の高圧フィルター (3) によってフィルター面積が広くなり、塗装機での作業が容易になります。



3.3 説明図

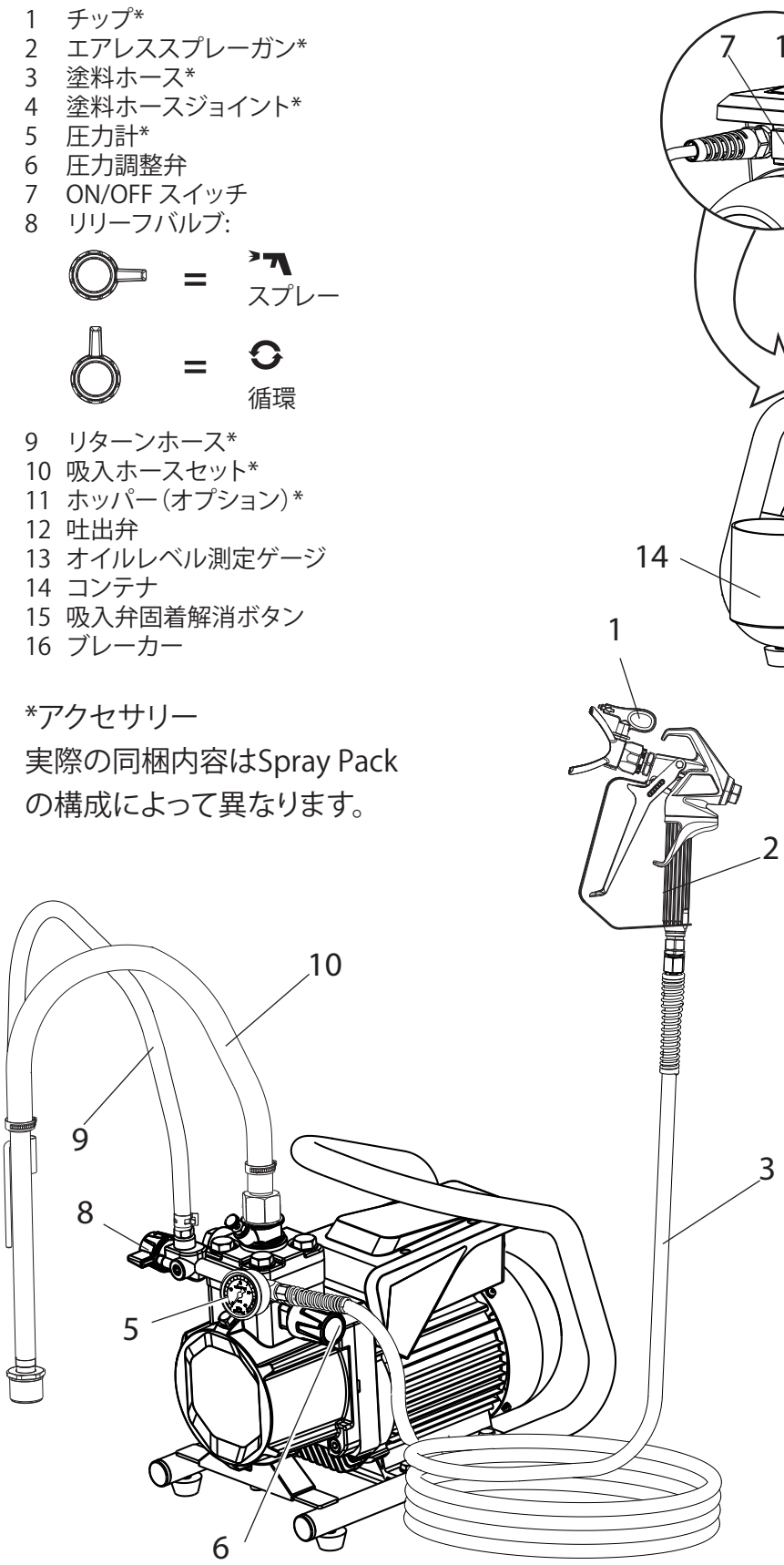
1 チップ*
2 エアレススプレーガン*
3 塗料ホース*
4 塗料ホースジョイント*
5 圧力計*
6 圧力調整弁
7 ON/OFF スイッチ
8 リリーフバルブ:

= スプレー

= 循環

9 リターンホース*
10 吸入ホースセット*
11 ホッパー(オプション)*
12 吐出弁
13 オイルレベル測定ゲージ
14 コンテナ
15 吸入弁固着解消ボタン
16 ブレーカー

*アクセサリー
実際の同梱内容はSpray Pack の構成によって異なります。



3.4 技術データ

	50 Hz	60 Hz
電源:	100 Volt ~, 50 Hz	100 Volt ~, 60 Hz
ヒューズ:	15 A 遅延型	
接続ケーブル:	長さ 3 m, 3x1,5 mm^2	
最大消費電流:	13,0 A	9,0 A
保護等級:	IP 54	
最大消費電力:	850 W	870 W
締切圧力:	20,7 MPa (207 bar)	
最大吐出量(循環):	2,0 l/min	2,3 l/min
水が12 MPa (120 bar) の場合の流：	1,7 l/min	2,0 l/min
塗料の最大許容温度:	43 °C	
最大粘度:	15.000 mPas	
重量：	23,8 kg	
油圧オイル充填量:	0,98 l	
最大音圧レベル:	77 dB (A)*	

*測定場所:塗装機側面からの距離1 m、床からの高さ1.6m、作動圧力12 MPa (120bar)、音響反射性の床

車両での輸送
適切な固定具を使って塗装機を車内に固定してください。必要に応じて、本機を横に寝かすこともできます。その際、取付け部品が損傷しないように注意してください。注意:塗料や溶剤の残りがジョイント部から流れ出ることがあります。

4 使用開始

i	運転開始の前に、固着解消ボタンを押してください。これによって、バルブがブロックされていない/固着していないことが確かめられます。

4.1 サクションシステム付きの場合

1. ジョイントのシール面に汚れがないか確認します。赤色の吸入口チューブ(1) が塗料吸入口 (4) にはめ込まれていることを確認します。
2. 任意のスパナ (41mm) を使って吸入ホースセット (3) にある袋ナット (2) を塗料吸入口 (4) に取り付けます。
3. リターンホース (5) を接続部 (6) に差し込み、クランプ (7) で固定します。.

4.2 ホッパー 付きの場合

1. ジョイントのシール面に汚れがないか確認します。赤色の吸入口チューブ (1) が塗料吸入口 (4) にはめ込まれていることを確認します。
2. リターンホース (5) を接続部 (6) に差し込み、クランプ (7) で固定します。
3. ホッパー (8) を塗料吸入口 (4) に取り付け、手で締め付けます。

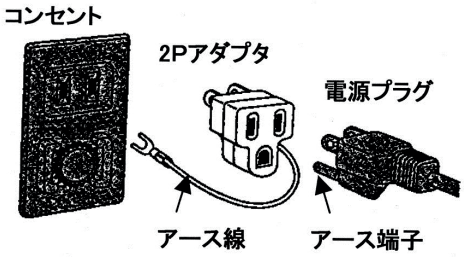
4.3 塗料ホースとエアレススプレーガン

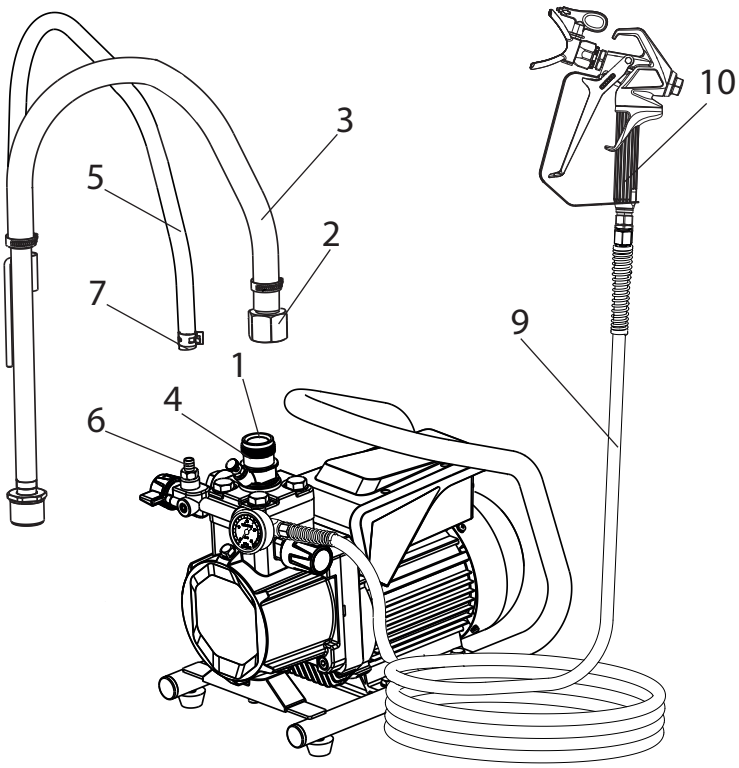
1. 塗料ホース (9) をホースジョイントに取り付けます。
2. エアレススプレーガン (10) を塗料ホースに取り付けます。
3. 塗料が漏れ出ないように、塗料ホースのすべての袋ナットをしっかりと締め付けます。
4. 選択したノズルが付いたノズルホルダーをエアレススプレーガンに取り付け、向きを調整し、締め付けて固定しま す。(エアレススプレーガン / トレードチップの説明書を参照)

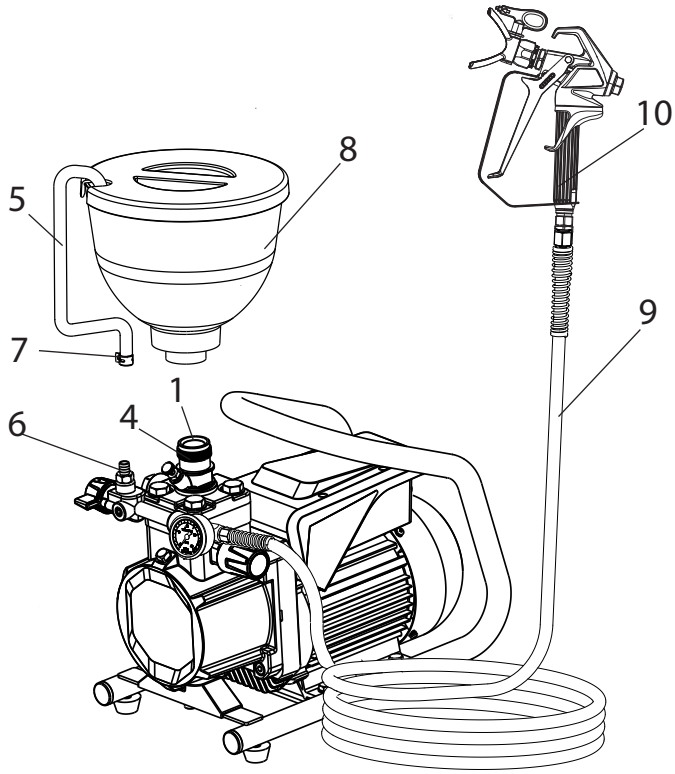
⚠	塗料ホースをホースジョイントから取り外す際は、ホースジョイントを22mmのスパナを使って保持しながら塗料ホースを取り外してください。

4.4 電源接続

100Vコンセントの確認
電源プラグはアース端子付き3Pになっています。コンセントにアースのついていない2Pの場合は、付属のアダプタを取り付けて使用してください。







4.5 初使用開始の手順

サクションシステムの場合

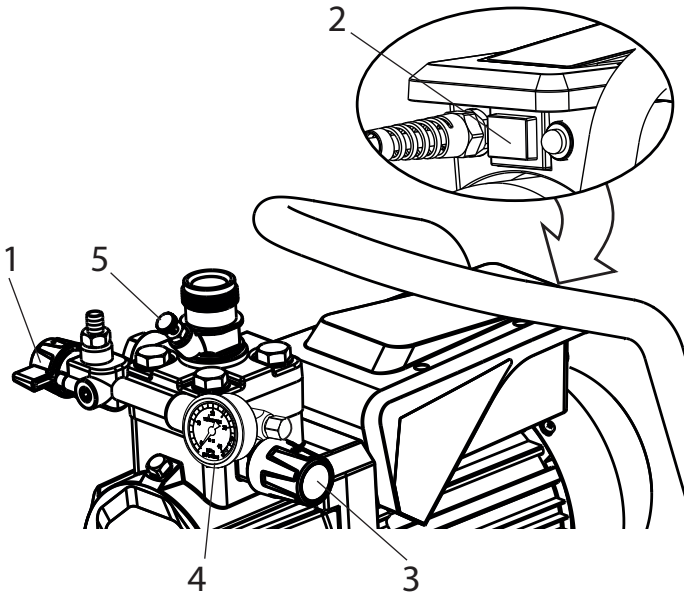
1. 適切な洗浄剤（水または溶剤）を入れた容器の中にサクションシステムを浸します。

ホッパー付きの場合

2. 適切な洗浄剤（水または溶剤）をホッパーに充填します。
3. リリーフバルブ (1) を ⟳ (循環) にします。
4. ON/OFF スイッチ (2) を I (ON)にし、本機を始動させます。
5. 圧力調整ノブ (3) を右いっぱいに回します。
6. リターンホースから洗浄剤（水または溶剤）が流れ出るまで待ちます。
7. 圧力調整ノブ (3) を約1回転戻します。
8. リリーフバルブ (1) を ➤ (スプレー) にします。
   高圧ホース内で圧力があがります。（圧力計 (4) で確認できます）
9. スプレーガンのノズルを開いた回収容器に向け、トリガーを引きます。
10. 圧力調整ノブ (3) を右方向に回し、圧力を上昇させます。（圧力5.0 MPa 以下）
11. 洗浄剤（水または溶剤）を開いた回収容器に向けて吹き戻します。（約1〜2分間）

4.6 吸入弁から音が聞こえない場合の塗装機 (油圧システム) のエア抜き

1. ON/OFF スイッチ (2) を I (ON)にし、本機を始動させます。
2. 圧力調整ノブ (3) を左方向に3回転します。
3. リリーフバルブ (1) を ⟳ (循環) にします。油圧システムのエア抜きが行われます。塗装機の電源を2〜3分間入れたままにします。
4. 圧力調整ノブ (3) を右いっぱいに回します。
5. 固着解消ボタン(5)を短く押します。インレットバルブのノイズが聞こえます。
6. そうでない場合は、2〜5を繰り返すか、排気バルブの接続面を小型ハンマーで軽く叩きます。



4.7 塗料充填後の始動

サクションシステムの場合

1. 塗料を入れた容器の中にサクションシステムを浸します。

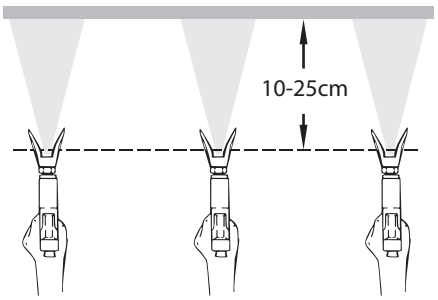
ホッパー付きの場合

2. 塗料をホッパーに充填します。
3. リリーフバルブ (1) を ⟳ (循環) にします。
4. ON/OFF スイッチ (2) を I (ON)にし、本機を始動させます。
5. 圧力調整ノブ (3) を右いっぱいに回します。
   エア抜きされると弁から聞こえる音が変化し、塗料が吸入されます。
6. 塗料がリターンホースから流れ出たら、圧力調整ノブ (3) を約1回転戻します。
7. リリーフバルブ (1) を ➤ (スプレー) にします。
   高圧ホース内で圧力があがります。（圧力計 (4) で確認できます）
8. エアレススプレーガンのトリガーを引いて、開いた回収容器の中に洗浄剤（水または溶剤）の残りを捨て吹きします。ノズルから塗料が流れ出たら、エアレススプレーガンを閉じます。
9. 圧力調整ノブ (3) を回して適切なスプレー圧力を設定します。
10. これで塗装準備が整いました。

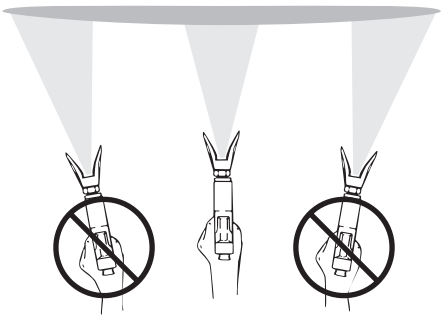
5 塗装テクニック

- 高品質な塗装結果を達成するには、全表面を均一に塗布することがカギになります。
  腕を一定の速度で動かして、スプレーガンを表面から一定の間隔に保ってください。スプレーノズルと表面の間が約10-25 cmになるのが最適な間隔です。（図A）
- スプレーガンを表面に対して平行に保ってください。動きは腕全体で行い、手首では行わないでください。（図B）
- スプレーガンを表面に対して直角に保ってください。そうしないと塗装が一方の端で他方の端よりも厚くなってしまいます。（図C）
- 腕を動かし始めたら、トリガーを引いてください。腕の動きを終了する前にトリガーを離してください。（図D）
  スプレー面内で中断しないようにしてください。
- 各軌道を約30％重ねてください。それによって均一な塗装に仕上がります。（図E）
- スプレーの霧を最小にするためには、希望のスプレーパターンが得られる最も小さな圧力に設定してください。
- ラッカー塗装作業で表面を特別にきれいに仕上げられるよう、ワグナーではFineFinishノズルなどの特殊アクセサリーをご用意しております。お気軽にワグナー製品取扱店までご相談ください。

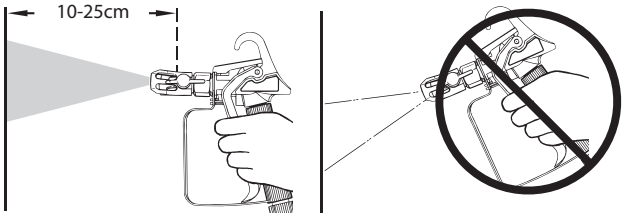
A)



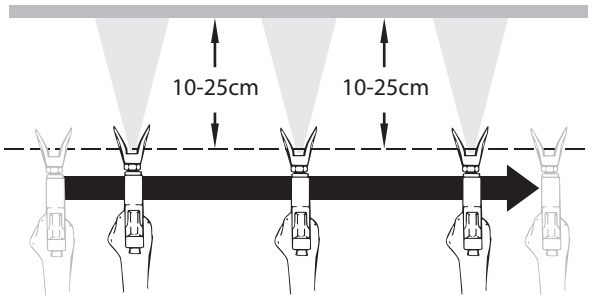
B)



C)



D)



E)

6 塗料ホースの取扱い

本機には、ダイアフラムエアレスポンプに適した専用の塗料ホースが装備されています。

	塗料ホースの漏れにより負傷するおそれがあります。損傷がある塗料ホースはただちに取り替えてください。 欠陥のある塗料ホースを絶対に自分で修理しないでください。

塗料ホースの取扱いは慎重に行ってください。鋭角に曲げたり折り曲げないでください。
塗料ホースを踏まないでください。尖った物や角で擦れないように保護してください。
塗料ホースを引っ張って塗装機を動かすことは絶対におやめください。
塗料ホースがねじれないように注意してください。スイベルジョイントおよびホースリール付きのワグナー製スプレーガンを使用することにより、これを防止できます。

	足場での作業で高圧ホースを取り扱う場合は、ホースを常に足場の外側に通すことが最も安全です。

	古くなった高圧ホースを使用すると、損傷する危険が高まります。 高圧ホースを6年使用したら交換することをワグナーでは推奨しています。

	機能性、安全性および寿命の理由から、ワグナー製の純正の塗料ホースのみを使用してください。

7 作業の中断

1. リリーフバルブを ↻ (循環) にします。
2. ON/OFF スイッチを 0 (OFF)にします。
3. エアレススプレーガンのトリガーを引き、塗料ホー スおよびスプレーガンから圧力を逃がします。
4. エアレススプレーガンをロックします。エアレススプレーガンの操作説明書を参照。
5. ノズルホルダーからノズルを取り出し、適切な洗浄剤（水または溶剤）を入れた小さい容器の中に浸しておきます。
6. サクションシステムは塗料に浸したままにするか、適切な洗浄剤（水または溶剤）に浸します。サクションフィルターと塗装機が乾燥してしまわないようにしてください。
7. 塗料が乾燥しないように、塗料缶に覆いをします。

	速乾性塗料または二液性塗料を使用する場合は、ただちに洗浄してください。

8 洗浄

本機を支障なく使用するためには、こまめな洗浄が欠かせません。スプレー作業の後には、塗装機を洗浄してください。絶対に塗装機の中に残った塗料が乾燥してこびりつかないようにしてください。洗浄には各塗料に合った洗浄剤（水または溶剤。溶剤の場合、引火点21 °C以上）を使用してください。

i	水性塗料の場合は、温水を使うとよりきれいになります。

- エアレススプレーガンの安全ロックをロックします。エアレススプレーガンの操作説明書を参照。
  ノズルとノズルホルダーを取り外し、洗浄します。
- **サクションシステムの場合**

1. リリーフバルブを (循環) にします。
2. ON/OFF スイッチを I(ON) にします。
3. サクションシステムを塗料容器から取り外します。塗料がほとんど流れ出てこなくなるまで、リターンホースを塗料缶の上に置いておきます。
4. サクションシステムを適切な洗浄剤（水または溶剤） に浸します。
5. 圧力調整ノブを左に回して、スプレー圧力を最小に調整します。
6. リリーフバルブ を (スプレー) にします。
7. エアレススプレーガンのトリガーを引いて、塗料 ホースおよびエアレススプレーガンに残っている塗料を、口の開いた容器内に捨て吹きします。 (場合に応じて圧力調整ノブで圧力を少しずつ上げて、塗料の吐出量を増加します)

⚠	溶剤系の塗料の場合は、容器が接地（アース）されていなければなりません。

⚠	注意：小さい開口部 (注入口) 付きの容器内にスプレーしたりポンプで注入してはいけません。 安全規定を参照。

8. リリーフバルブを (循環) にします。
9. 適切な洗浄剤（水または溶剤）を回路内で数分間循環させます。

i	エアレススプレーガンを繰り返し開閉すると、洗浄効果が上がります。

10. リリーフバルブ を (スプレー) にします。
11. 塗装機が空になるまで、残りの洗浄剤（水または溶剤）を口の開いた容器内に捨て吹きします。
12. リリーフバルブを (循環) にします。
13. ON/OFF スイッチ を 0 にします。

- **ホッパー付きの場合**

1. リリーフバルブを (循環) にします。
2. ON/OFF スイッチを I (ON)にします。
3. 圧力調整ノブを左に回して、スプレー圧力を最小に 調整します。
4. リリーフバルブ を (スプレー) にします。
5. エアレススプレーガンのトリガーを引いて、ホッパー、塗料ホースおよびスプレーガンに残っている塗料を、口の開いた容器内に捨て吹きします。(場合に応じて圧力調整弁の圧力を少しずつ上げて、塗料の吐出量を増加します)

⚠	溶剤系の塗料の場合は、容器が接地（アース）されていなければなりません。

⚠	注意：小さい開口部 (注入口) 付きの容器内にスプレーしたりポンプで注入してはいけません。 安全規定を参照。

6. ホッパーに適切な洗浄剤（水または溶剤）を注入します。
7. リリーフバルブを (循環) にします。
8. 適切な洗浄剤（水または溶剤）を回路内で数分間循環させます。
9. リリーフバルブ を (スプレー) にします。
10. 塗装機が空になるまで、残りの洗浄剤（水または溶剤）を口の開いた容器内に捨て吹きします。
11. リリーフバルブを (循環) にします。
12. ON/OFF スイッチ を 0(OFF) にします。

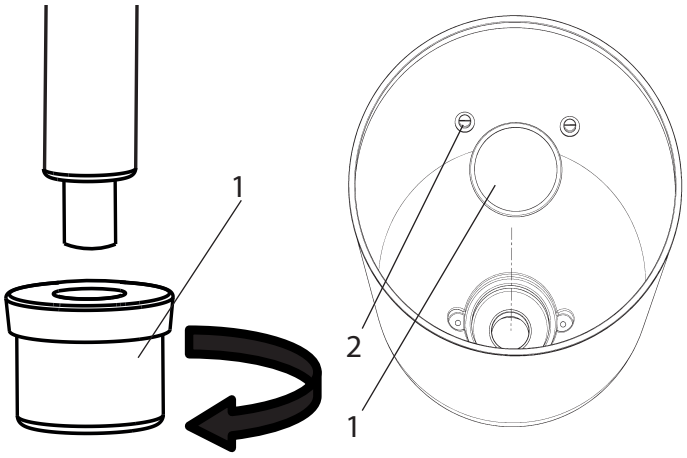
8.1 外側からの洗浄

⚠	事前に電源プラグをコンセントから抜いておいてください。 水が侵入してショートするおそれがあります。 機械本体の洗浄には絶対に高圧洗浄機や高圧スチームクリーナーを使用しないでください。
⚠	塗料ホースを溶剤に入れないでください。 お手入れには、湿らせた布で外側を拭いてください。

塗装機の外側は、適切な洗浄剤（水または溶剤）を浸した布で拭き取ります。

8.2 サクションフィルター

i	清浄なフィルターを使用することで、最大吐出量、安定した噴射圧力、支障のない動作が保証されます。



サクションフィルター　　ホッパー

サクションシステムの場合

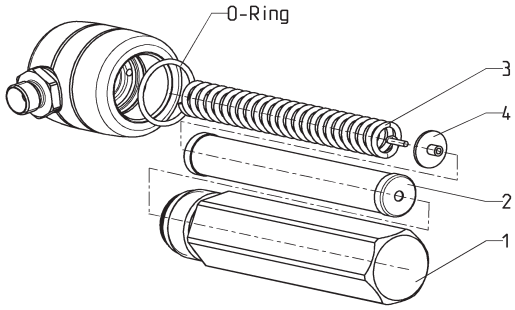
1. サクションフィルター (1) を吸入ホースセットから 取り外します。
2. フィルターを洗浄または交換します。
   洗浄には、硬いブラシと適切な洗浄剤（水または溶剤）を使用してください。

ホッパー付きの場合

1. ドライバーを使ってボルト (2) を外します。
2. フィルターリング (1) をドライバーで持ち上げ、取り外します。
3. フィルターリングを洗浄または交換します。
   洗浄には、硬いブラシと適切な洗浄剤（水または溶剤）を使用してください。

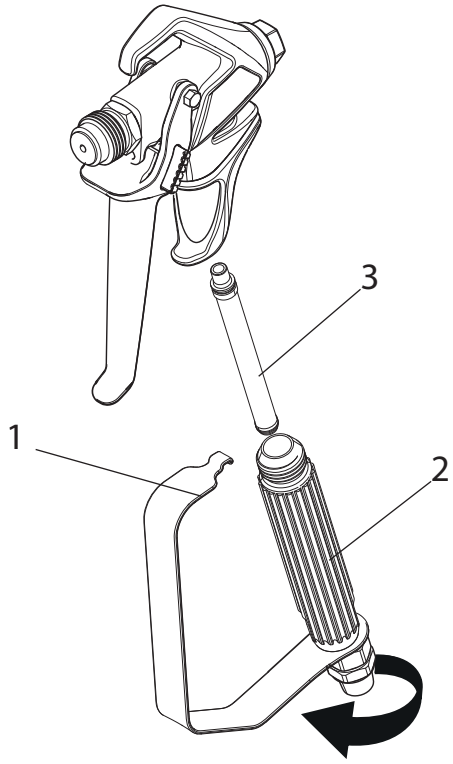
8.3 高圧フィルター (オプション)

1. リリーフバルブを ↻ (循環) にします。
2. ON/OFF スイッチを ON にします。
3. 高圧フィルターを開き、中に入っているフィルター一式を洗浄します。具体的な手順は：
4. フィルターハウジング (1) を手で取り外します。
5. フィルターエレメント (2) を取り出し、サポートスプリング (3) を抜き取ります。
6. 全ての部品を適切な洗浄剤（水または溶剤）で洗浄します。送風装置がある場合は、フィルターエレメントとサポートスプリングの表面の付着物を吹き払います。
7. フィルターを組み立てる際、サポートディスク (4) がフィルターエレメントに正しく取り付けられるように注意し、フィルターハウジングのOリングに損傷がないか点検します。
8. フィルターハウジングをストップ位置まで手で締め付けます (締め付けすぎると後に取外しが困難になります)。



8.4 エアレススプレーガンの洗浄

1. エアレススプレーガンは適切な洗浄剤（水または溶剤）を使って低圧力で洗浄します。
2. ノズルは内部に塗料が残らないように、適切な洗浄剤(水または溶剤）で入念に洗浄します。
3. エアレススプレーガンの外側を入念に洗浄します。



エアレススプレーガン内の挿入フィルター

1. トリガーガードの上側 (1) をガンヘッドから外します。
2. トリガーガードの下側をレンチとして使用し、それを使ってハンドル (2) を緩め、ガンヘッドから取り外します。
3. 古いフィルター (3) をスプレーガンヘッドから引き抜きます。これをクリーニングまたは交換します。
4. 新しいフィルターを円錐形の端を先にして、スプレーガンヘッドに挿入します。
5. ハンドルがしっかりと固定されるまで、スプレーガンのヘッドに押し込んでください。ハンドルをトリガースパナで締め付けます。
6. トリガーガードをガンヘッドにはめ込みます。

9 メンテナンス

9.1 一般的なメンテナンス

⚠	安全上の理由から、専門技術者による検査を年に1回実施することを強くお勧めします。検査に関しては、各国で適用されているすべての法規に従ってください。

⚠	本機のメンテナンスはワグナーのサービススタッフが承っております。

使用開始前に毎回行う最低限の点検事項

1. 塗料ホース、スイベルジョイント付きエアレススプレーガンおよびプラグ付き接続ケーブルに損傷がないか点検します。
2. 圧力計が読み取れるか確認します。

定期的に行う点検

1. 吸入弁および吐出弁が摩耗してないか点検し、洗浄して摩耗部品を交換します。
2. フィルターエレメント（エアレススプレーガン、サク ションシステム）を洗浄し、必要に応じて交換します。

9.2 塗料ホース

塗料ホースに切れ目や膨らみがないか目視点検します。特に継ぎ目を念入りに点検します。袋ナットはスムーズに回転できる状態にします。ホース全体にわたって電気伝導性が1MΩ以下である必要があります。

⚠	電気的な点検はワグナーのサービススタッフにお申し付けください。

i	古くなった高圧ホースを使用すると、損傷する危険が高まります。 高圧ホースを6年使用したら交換することをワグナーでは推奨しています。

10 修理

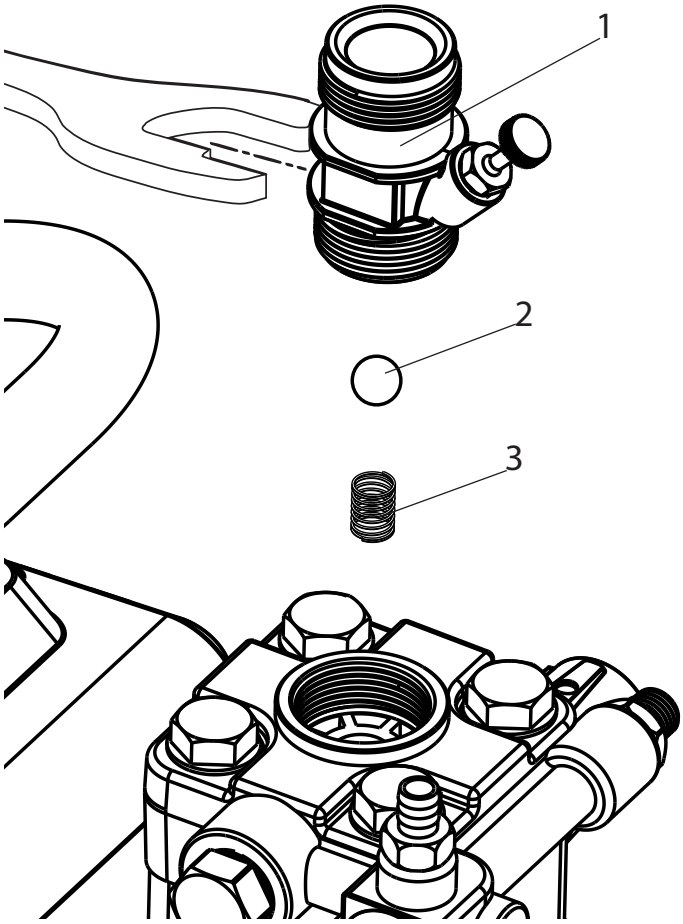
⚠	電源を切ってください。 修理の前には必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

10.1 吸入弁

1. 付属のスパナ (30mm) をハウジング (1) にあてがいます。
2. スパナの先端をハンマーで軽く叩き、ハウジング (1) を外します。
3. 塗料セクションからハウジングのネジを外します。
4. ボール (2) およびスプリング (3) を取り外します。
6. すべての部品を清掃し、損傷がないことを確認します。必要に応じて交換してください。

取付け手順

1. ボール (2) およびスプリング (3) を再び装着します。
2. ハウジング (1) を塗料セクションにねじ込みます。
3. スパナ (30mm) を使ってハウジングを締め付け、スパナ先端をハンマーで3回軽く叩いてしっかり締め付けます（締め付けトルク約50-60 Nmに相当）。

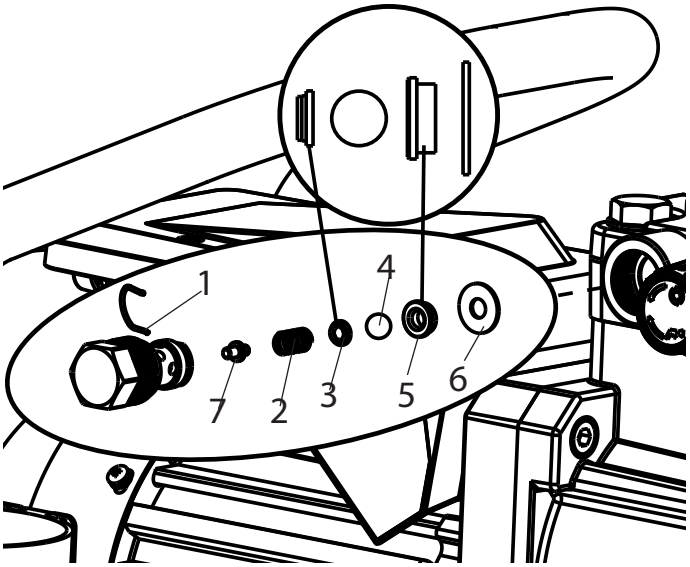


10.2 吐出弁

1. スパナ (22mm) を使って吐出弁を塗料セクションから取り外します。
2. 任意のドライバーを使ってクリップ (1) を慎重に抜き取ります。スプリング (2) によってボール (4) およびバルブシート(5) が押し出されます。
3. 洗浄または交換します。(吐出弁サービスセット／吐出弁セットで交換)
4. Oリング (7) が損傷していないか点検します。
5. スプリング支持リング (3) (スプリング (2) にはめ込まれます)、吐出弁シート (5) およびシーリングワッシャー(6) を取り付ける際には、それぞれの取付け位置に注意してください。 -> 図を参照

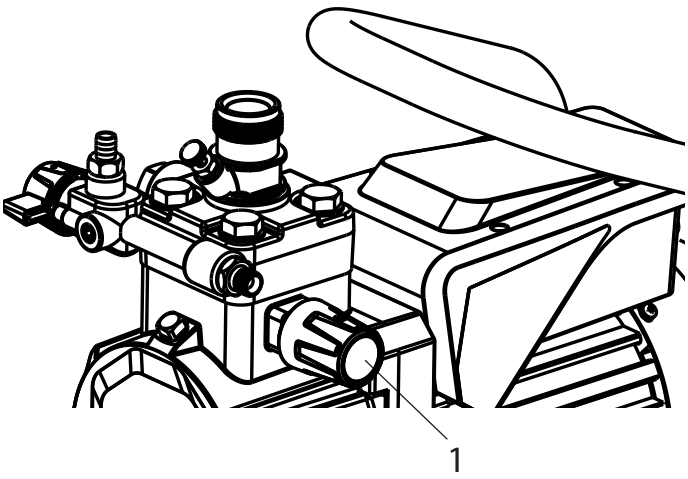
以下の注記を守ってください：

1. 吐出弁の組み立てのトルクは65-70 Nmです。
2. 通常運転の際に吐出弁が緩んだか定期的に点検してください。
3. 吐出弁を解体した場合は、どのコンポーネントを交換したいかに関係なく、常にシール (6) も交換してください。注記：シール (6) は塗料セクション内部にあります。
4. シール (6) 内のナットは交換の際、外側に向いています。



10.3 圧力調整弁

⚠	圧力調整弁 (1) の交換はサービススタッフが行います。 最大締切圧力はサービススタッフが新しく設定し直します。



10.4 典型的な摩耗部品

高品質の材料を使用しているにもかかわらず、塗料の強力な研磨作用により、以下の部品の摩耗が起こる場合があります。

吸入弁
交換については10.1を参照
(性能の低下かつ/または吸引力の低下やまったく吸引しなくなることによって故障がわかります。しっかり洗浄することによって改善できます)

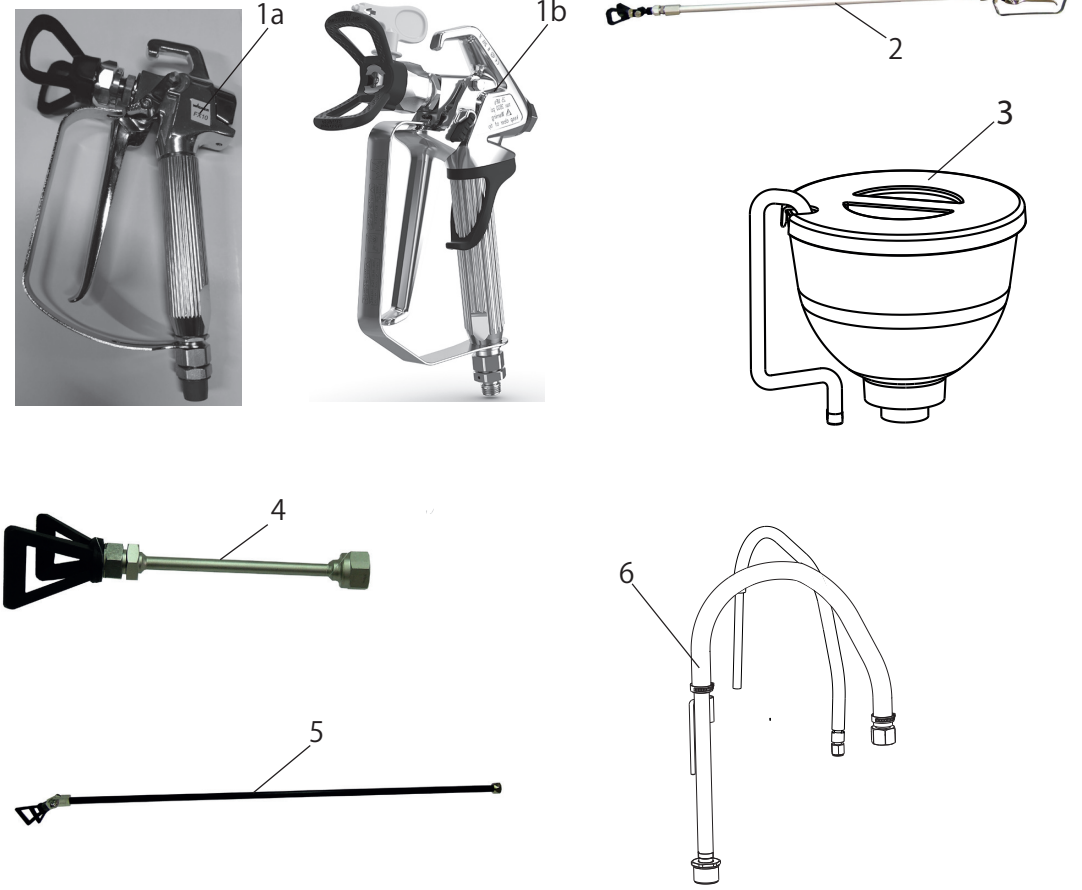
吐出弁
交換については10.2を参照
(性能の低下かつ/または吸引力の低下によって故障がわかります)通常、吐出弁の方が吸入弁よりはるかに長持ちします。場合により、しっかり洗浄することが役立ちます。

10.5 トラブルシューティング

不具合の種類	その他の不具合	考えられる原因	対策
塗装機が作動しない	電源が供給されていない 電源が供給されていない	電源が供給されていない	電源供給を点検する
		ブレーカーが反応	モーターを冷やし、ブレーカーを押し戻します。その後、再度電源を入れる
塗装機の吸入が行われない	リターンホースから気泡および液体が出ない	吸入弁または吐出弁が固着している/摩耗している	弁を取り外して洗浄する（-> 10.1/10.2を参照）。摩耗した部品を交換
		圧力調整弁が元に戻されている	圧力調整弁を右いっぱいに回す
	リターンホースから気泡が出る	余分な空気が吸入されている	点検事項：サクションシステムがしっかり締 塗料入口に赤色の吸入口チューブが付いているか？(-> 4.1章参照
圧力が上がらない	塗装機が吸入しない	オイル回路内に空気が入っている	塗装機のオイル循環回路をエア抜きする。まず、圧力調整弁を左いっぱいまで回し、約2〜3分間作動させる。その後で圧力調整弁を右へ回し、スプレー圧力を調整する (必要に応じてこの操作を数回繰り返す)。
	圧力は上昇するが、塗装作業をすると圧力が急低下する	サクションフィルターの詰まり	サクションフィルターを点検する/必要に応じて洗浄または交換する
		粘度の高い塗料が弁 (吸入弁) に粘着して吐出量が不足、この状態での塗料の使用は不可能	塗料を希釈する
	圧力は上昇するが、塗装作業をするとスプレー噴霧が出なくなる（圧力計は高い圧力を示す）	フィルターが詰まっており、塗料があまり通らない	ガンフィルター、サクションフィルター、高圧フィルター（ある場合）を点検する/洗浄する
		ノズルの詰まり	ノズルを洗浄する
	圧力が最大まで上がらない、噴射設定時でもリターンホースから塗料が流出される	リリーフ弁の故障	ワグナーのカスタマーサービス窓口までお問い合わせください

11 交換部品とアクセサリー

11.1 HERO 21 のアクセサリー



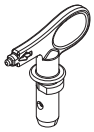
アクセサリー：

位置	製品名	注文番号
1a 1b	エアレススプレーガン　FX10* （ホース取付口　NPS1/4″） エアレススプレーガン Vektor Pro (アル ミニウム仕様、ホース取付口 NPS1/4″)	2247030 2247051
2	ポールガン 長さ1.2 m 長さ 2.0 m	 2247 112 2247 124
3	3.7ホッパー	2444212

位置	製品名	注文番号
4	延長ガンキャップ 長さ 15 cm 長さ 30 cm 長さ 45 cm 長さ 60 cm	 2999 324 2999 325 2999 326 2999 327
5	延長ガンキャップ 回転ジョイント付き 長さ 1 m 長さ 2 m 長さ 3 m	 96 015 96 016 96 017
6	吸入ホースセット	2444485

* 標準セット

エアレスノズルの一覧表



ワグナー
トレードチップ3
ノズル
最大 270 bar
(27 MPa)

トレードチップボディG
品番：0289390
ベクタープロ・ベクターグリップ
GX10エアレスガン　用
（Gネジ）

以下の表のノズルには、対応するガンフィルターが付属品として付いています。

用途	刻印	角度	チップ口径 inch / mm	パターン幅 mm ※	ガンフィルター	注文番号
水性塗料/溶剤系塗料 **ラッカー系塗料** **オイル**	107 207 307 407 109 209 309 409 509 609	10° 20° 30° 40° 10° 20° 30° 40° 50° 60°	0.007 / 0.18 0.007 / 0.18 0.007 / 0.18 0.007 / 0.18 0.009 / 0.23 0.009 / 0.23 0.009 / 0.23 0.009 / 0.23 0.009 / 0.23 0.009 / 0.23	100 120 150 190 100 120 150 190 225 270	赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤	553107 553207 553307 553407 553109 553209 553309 553409 553509 553609
合成樹脂塗料 **エナメル**	111 211 311 411 511 611	10° 20° 30° 40° 50° 60°	0.011 / 0.28 0.011 / 0.28 0.011 / 0.28 0.011 / 0.28 0.011 / 0.28 0.011 / 0.28	100 120 150 190 225 270	赤 赤 赤 赤 赤 赤	553111 553211 553311 553411 553511 553611
ワニス **下塗りラッカー** **下塗り塗料** **ジンクロメート** **プライマー**— **目止め剤**	113 213 313 413 513 613 813	10° 20° 30° 40° 50° 60° 80°	0.013 / 0.33 0.013 / 0.33 0.013 / 0.33 0.013 / 0.33 0.013 / 0.33 0.013 / 0.33 0.013 / 0.33	100 120 150 190 225 270 330	赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤	553113 553213 553313 553413 553513 553613 553813
目止め剤 **プラスター** **錆止め塗料**	115 215 315 415 515 615 715 815	10° 20° 30° 40° 50° 60° 70° 80°	0.015 / 0.38 0.015 / 0.38 0.015 / 0.38 0.015 / 0.38 0.015 / 0.38 0.015 / 0.38 0.015 / 0.38 0.015 / 0.38	100 120 150 190 225 270 300 330	黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄	553115 553215 553315 553415 553515 553615 553715 553815
プラスター **錆止め塗料** **鉛丹** **水性トップコート**	117 217 317 417 517 617 717 817 219 319 419 519 619 719 819 919	10° 20° 30° 40° 50° 60° 70° 80° 20° 30° 40° 50° 60° 70° 80° 90°	0.017 / 0.43 0.017 / 0.43 0.017 / 0.43 0.017 / 0.43 0.017 / 0.43 0.017 / 0.43 0.017 / 0.43 0.017 / 0.43 0.019 / 0.48 0.019 / 0.48 0.019 / 0.48 0.019 / 0.48 0.019 / 0.48 0.019 / 0.48 0.019 / 0.48 0.019 / 0.48	100 120 150 190 225 270 300 330 120 150 190 225 270 300 330 385	黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄 白 白 白 白 白 白 白 白	553117 553217 553317 553417 553517 553617 553717 553817 553219 553319 553419 553519 553619 553719 553819 553919
マイカ塗料 **ジンクリッチ塗料** **エマルション塗料** **屋根用塗料**	221 321 421 521 621 721 821 223 323 423 523 623 723 823	20° 30° 40° 50° 60° 70° 80° 20° 30° 40° 50° 60° 70° 80°	0.021 / 0.53 0.021 / 0.53 0.021 / 0.53 0.021 / 0.53 0.021 / 0.53 0.021 / 0.53 0.021 / 0.53 0.023 / 0.58 0.023 / 0.58 0.023 / 0.58 0.023 / 0.58 0.023 / 0.58 0.023 / 0.58 0.023 / 0.58	120 150 190 225 270 300 330 120 150 190 225 270 300 330	白 白 白 白 白 白 白 白 白 白 白 白 白 白	553221 553321 553421 553521 553621 553721 553821 553223 553323 553423 553523 553623 553723 553823

※ 被塗物までの距離約30 cm、圧力100 bar (10 MPa)、合成樹脂塗料 (DIN20 秒) の場合のパターン幅
パターン幅は塗料及び粘度により異なりますので、適応塗料の詳細及び適正ノズルの選定については、販売店もしくはワグナー営業所にお問い合わせください。

以下の表のノズルには、対応するガンフィルターが付属品として付いています。

用途	刻印	角度	チップ口径 inch / mm	パターン幅 mm ※	ガンフィルター	注文番号
エマルション塗料 **接着剤** **水性塗料** **目止め剤** **厚膜材料** **防錆剤**	225	20°	0.025 / 0.64	120	白	553225
	325	30°	0.025 / 0.64	150	白	553325
	425	40°	0.025 / 0.64	190	白	553425
	525	50°	0.025 / 0.64	225	白	553525
	625	60°	0.025 / 0.64	270	白	553625
	725	70°	0.025 / 0.64	300	白	553725
	825	80°	0.025 / 0.64	330	白	553825
	227	20°	0.027 / 0.69	120	白	553227
	327	30°	0.027 / 0.69	150	白	553327
	427	40°	0.027 / 0.69	190	白	553427
	527	50°	0.027 / 0.69	225	白	553527
	627	60°	0.027 / 0.69	270	白	553627
	827	80°	0.027 / 0.69	330	白	553827
	229	20°	0.029 / 0.75	120	白	553229
	329	30°	0.029 / 0.75	150	白	553329
	429	40°	0.029 / 0.75	190	白	553429
	529	50°	0.029 / 0.75	225	白	553529
	629	60°	0.029 / 0.75	270	白	553629
	231	20°	0.031 / 0.79	120	白	553231
	331	30°	0.031 / 0.79	150	白	553331
	431	40°	0.031 / 0.79	190	白	553431
	531	50°	0.031 / 0.79	225	白	553531
	631	60°	0.031 / 0.79	270	白	553631
	731	70°	0.031 / 0.79	300	白	553731
	831	80°	0.031 / 0.79	330	白	553831
大面積塗料	233	20°	0.033 / 0.83	120	白	553233
	333	30°	0.033 / 0.83	150	白	553333
	433	40°	0.033 / 0.83	190	白	553433
	533	50°	0.033 / 0.83	225	白	553533
	633	60°	0.033 / 0.83	270	白	553633
	235	20°	0.035 / 0.90	120	白	553235
	335	30°	0.035 / 0.90	150	白	553335
	435	40°	0.035 / 0.90	190	白	553435
	535	50°	0.035 / 0.90	225	白	553535
	635	60°	0.035 / 0.90	270	白	553635
	735	70°	0.035 / 0.90	300	白	553735
	439	40°	0.039 / 0.99	190	白	553439
	539	50°	0.039 / 0.99	225	白	553539
	639	60°	0.039 / 0.99	270	白	553639
	243	20°	0.043 / 1.10	120	緑	553243
	443	40°	0.043 / 1.10	190	緑	553443
	543	50°	0.043 / 1.10	225	緑	553543
	643	60°	0.043 / 1.10	270	緑	553643
	445	40°	0.045 / 1.14	190	緑	553445
	545	50°	0.045 / 1.14	225	緑	553545
	645	60°	0.045 / 1.14	270	緑	553645
	451	40°	0.051 / 1.30	190	緑	553451
	551	50°	0.051 / 1.30	225	緑	553551
	651	60°	0.051 / 1.30	270	緑	553651
	252	20°	0.052 / 1.32	120	緑	553252
	455	40°	0.055 / 1.40	190	緑	553455
	555	50°	0.055 / 1.40	225	緑	553555
	655	60°	0.055 / 1.40	270	緑	553655
	261	20°	0.061 / 1.55	120	緑	553261
	461	40°	0.061 / 1.55	190	緑	553461
	561	50°	0.061 / 1.55	225	緑	553561
	661	60°	0.061 / 1.55	270	緑	553661
	263	20°	0.063 / 1.60	120	緑	553263
	463	40°	0.063 / 1.60	190	緑	553463
	565	50°	0.065 / 1.65	225	緑	553565
	665	60°	0.065 / 1.65	270	緑	553665
	267	20°	0.067 / 1.70	120	緑	553267
	467	40°	0.067 / 1.70	190	緑	553467

※ 被塗物までの距離約30 cm、圧力100 bar (10 MPa)、合成樹脂塗料 (DIN20 秒) の場合のパターン幅
パターン幅は塗料及び粘度により異なりますので、適応塗料の詳細及び適正ノズルの選定については、販売店もしくはワグナー営業所にお問い合わせください。

HEAノズルの一覧表

以下の表のノズルには、対応するガンフィルターが付属品として付いています。

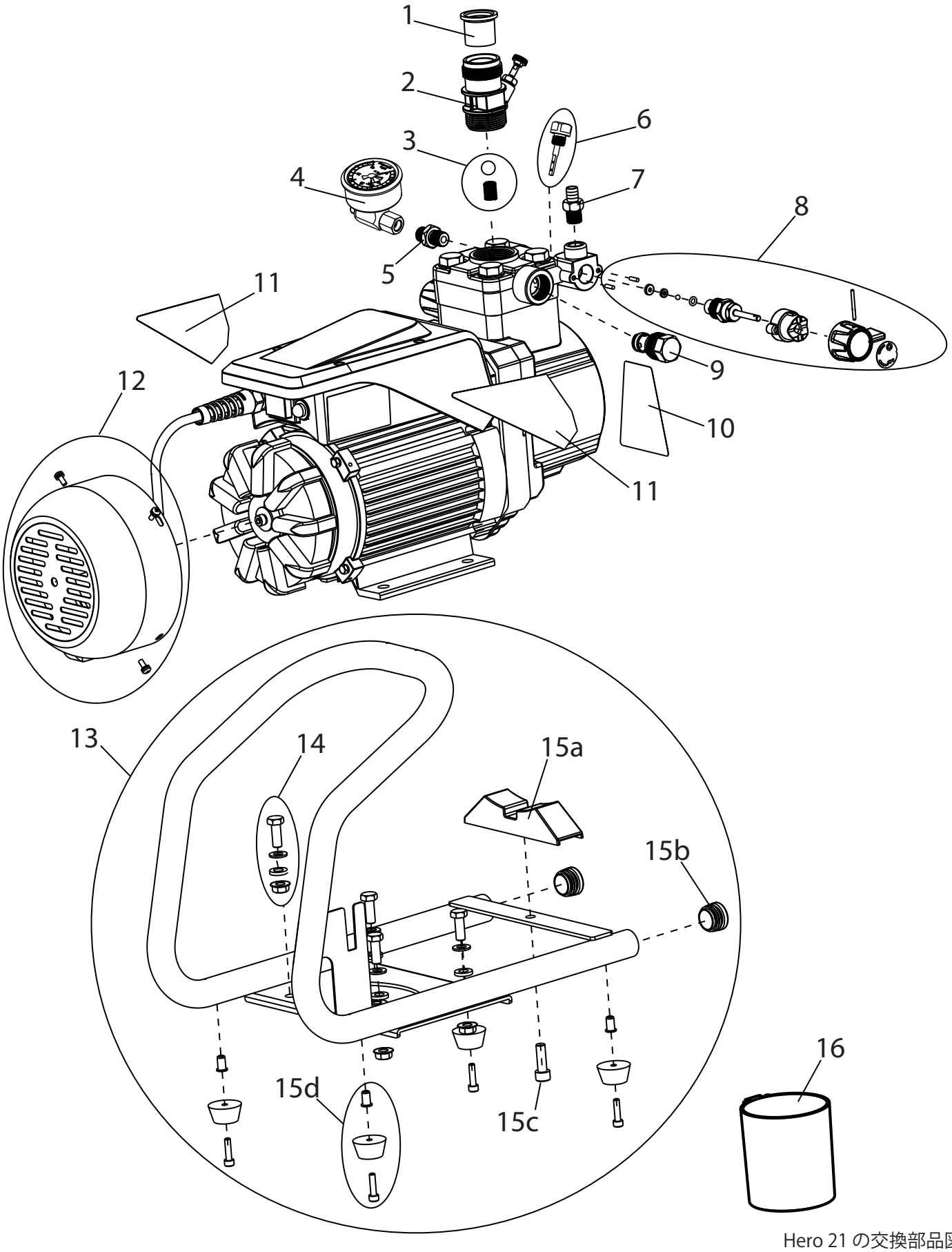
用途	刻印	角度	チップ口径 inch / mm	パターン幅 mm ※	ガンフィルター	注文番号
合成樹脂塗料 **PVCラッカー**	211 311 411	20° 30° 40°	0.011 / 0.28 0.011 / 0.28 0.011 / 0.28	120 150 190	赤 赤 赤	0554211 0554311 0554411
ラッカー、下塗りラッカー **プライマー、フィラー**	213 313 413	20° 30° 40°	0.013 / 0.33 0.013 / 0.33 0.013 / 0.33	120 150 190	赤 赤 赤	0554213 0554313 0554413
フィラー **目止め剤**	415 515 615	40° 50° 60°	0.015 / 0.38 0.015 / 0.38 0.015 / 0.38	190 225 270	黄 黄 黄	0554415 0554515 0554615
目止め剤 **ラテックス塗料** **エマルション塗料**	417 517 617	40° 50° 60°	0.017 / 0.43 0.017 / 0.43 0.017 / 0.43	190 225 270	白 白 白	0554417 0554517 0554617
錆止め塗料 **ラテックス塗料** **エマルション塗料**	519 619	50° 60°	0.019 / 0.48 0.019 / 0.48	225 270	白 白	0554519 0554619
防火剤	421 521 621	40° 50° 60°	0.021 / 0.53 0.021 / 0.53 0.021 / 0.53	190 225 270	白 白 白	0554421 0554521 0554621

※ 被塗物までの距離約30 cm、圧力100 bar (10 MPa)、合成樹脂塗料 (DIN20 秒) の場合のパターン幅

HEAノズルで作業する場合は圧力を50-150 bar / 5-15 MPA（マノメーターの緑のマークの範囲）に設定することを推奨します。

11.2 HERO 21 の交換部品

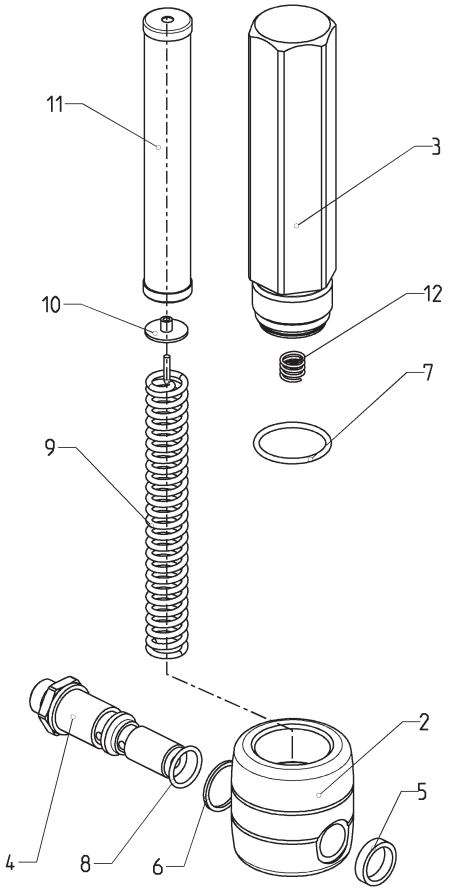
位置.	注文番号	製品名
1	2452215	吸入口チューブ
2	2443908	バルブハウジング
3	2443943	吸入弁セット
4	2383995	圧力計
5	2443952	吐出フィッティング
6	2443941	オイルレベル測定セット
7	2443942	吸入フィッティング
8	2443921	リリーフ弁セット
9	2443904	吐出弁セット
10	2452388	「Hero 21」モデルラベル
11	2445241	ラベル（右と左）
12	2443944	カバー
13	2443855	フレーム一式
14	2444508	ボルトセット (4 本)
15	2444509	防振ゴムセット (POS 15a, 15b (2ケ), 15c, 15d (4ケ) を含む)
16	2443953	コンテナ



Hero 21 の交換部品図

11.3 高圧フィルター (オプション) の交換部品リスト

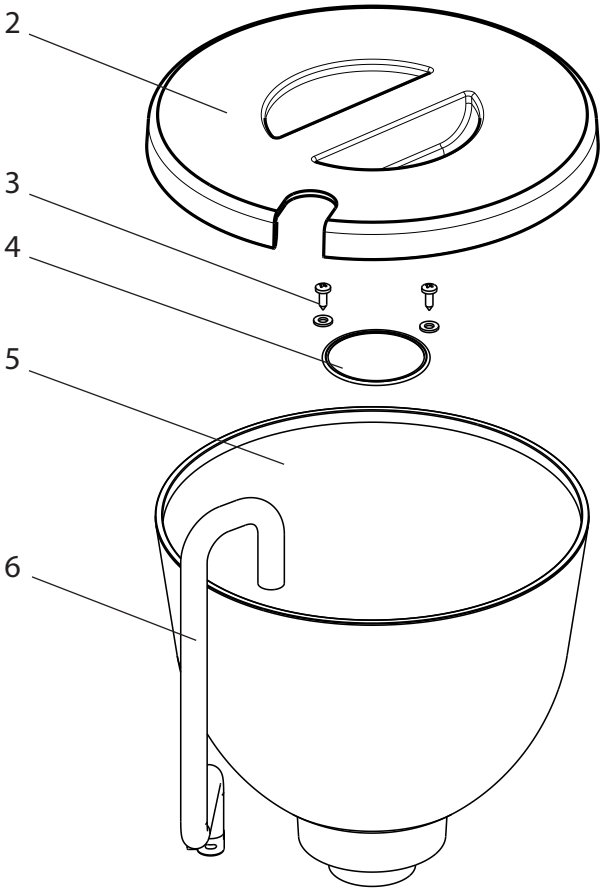
位置	注文番号	製品名
	97 123	フィルターセット
2	97 301	フィルターブロック
3	97 302	フィルターハウジング
4	97 306	中空ボルト
5	97 304	シールリング
6	9970 110	シールリング
7	9974 027	Oリング 30x2 (PTFE)
8	9971 401	Oリング 16x2 (PTFE)
9	0508 749	コアスプリング
10	0508 603	スプリングガイド
11	0508 748 0508 450 0508 449	フィルター 60メッシュ オプション: フィルター 100メッシュ フィルター 30メッシュ
12	9994 245	プレッシャースプリング



高圧フィルターの交換部品図

11.4 ホッパー (オプション)

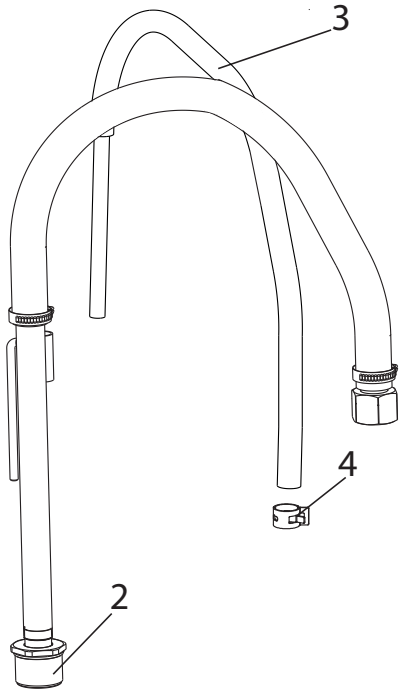
位置	注文番号	製品名
1	2444212	3,7 Lホッパーセット (POS 2-6)
2	2445295	ホッパーカバー
3	9902 306	スクリュー 3,9x13 (2)
4	0037 607 0003 756	フィルター、メッシュサイズ 0,8 mm オプション: フィルター、メッシュサイズ 0,4 mm
5	2445298	ホッパーボディ
6	2445297	リターンチューブ



ホッパーの交換部品図

11.5 サクションシステムの交換部品リスト

位置	注文番号	製品名
1	2444485	吸入ホースセット
2	2444491	フィルター
3	2444493	スプリングホース
4	2444494	クリップ



サクションシステムの交換部品図

機器の点検

安全上の理由から、必要に応じた頻度で、ただし少なくとも12か月おきに、専門家に本機の点検を依頼し、引き続き正常に動作することを確認してください。
機器を使用していない場合は、点検を、次回の使用開始時まで延期することができます。
さらに、その国の（異なる可能性がある）点検規定およびメンテナンス規定にも従ってください。
不明な点がある場合は、Wagner社のカスタマーサービスまでご連絡ください。

⚠ 廃棄に関する注意

本機の廃棄、および塗料、洗浄剤の廃棄に関しては、国・地方自治体の消防・電気・案全関連の法規定に従ってください。

製造物責任に関する重要事項
1990年1月1日に発効したEU規制に従い、メーカーは、すべての部品がメーカー製であるか、メーカーによって認可されたものであり、機器の組立と操作が正しく行われた場合のみ、製造物に対し責任を負います。他社製の付属品および交換部品を使用した場合、製造物責任の一部または全部が無効になります。極端なケースでは、管轄当局（同業組合および営業監督庁）によって機器全体の使用が禁止されることもあります。

WAGNER製の付属品および交換部品を使用しないと、安全規定を満たすことができません。

保証書

装置は次の製造保証により包括されています。
納入日から１２ヶ月（１－シフトの場合）或いは６ヶ月（２－シフトの場合）以内に設計・材料・製造不良が原因で実質的に使用できない部品及び付属品の修理・交換を無償で行う。
修理交換に関する保証条件は当社の自由裁量で行われる。
実施に伴う運賃、工賃、材料費は特別な事情を除きすべて当社で負担される。
下記理由で引き起こされた損傷は保証条項には包括されません；
天地異変による損傷、不適切な使用、購入者或いは第三者による誤った設置・始動、磨耗損耗、不注意な取扱い、不完全な保守点検、不適切な被塗物、代用材料、化学反応、電気化学作用。
ワグナーが製造していない部品に関しては保証条項に入りません。
交換部品の保証期限は拡大延長されませんので受領次第検査して下さい。
製品保証の喪失を避けるため、欠陥は直ちに連絡してください。
製品保証は購入先及び納入先に限定されます。
転売先での修理交換は有償となります。
この保証条項は法的制限は無く、当社の一般取引条件となります。

日本ワグナー・スプレーテック
〒574-0057
大阪府大東市新田西町2-35

TEL:072-874-3561
FAX:072-874-3426
www.wagner-group.com

仕様・部品番号は予告なく変更することがありますので、
あらかじめご了承ください。

Part. No. 2442787 B
10/2023_RS
© Copyright by J.Wagner GmbH